
白鳥任三郎!! 日常の恋愛に・・・

ブータロー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白鳥任三郎！！日常の恋愛に・・・

【コード】

N3400C

【作者名】

ブータロー

【あらすじ】

私は知っているのとは思いますがキャリアの白鳥任三郎です。こんな私も日常で悩みがあるんですよ。どうか皆さん私の悩みを聞いてください。

僕は、白鳥任三郎・・・

僕は警視庁では、以前警部補で今現在警部になりました。

まあ僕は、キャリア組なので出世が早いですよ。

周りからも優秀だって慕われていて頼られたりしている面不満なんてないですよ・・・。

仕事上での不満なんてないですよ・・・仕事上ではね

ただ普段警視庁に居て僕にとって不満な事がたくさんありますよ。完ぺき主義者の僕の思考を狂わせる事があるんです。

それは、佐藤さんの事なんです。

僕は佐藤さんの事が好きなんです

もちろん、僕はそのところそこじゅうにいるライバルどもにも勝って佐藤さんとの距離を近づけているんですよ？

しかし、なぜ佐藤さんはノンキャリアの高木君の方が好みなんですか？

なぜ、キャリアの僕がノンキャリアの彼に勝てないのでしょうか？

「あ、高木君おはよう。」

いつもの愛する女性むすめの声だ！！って期待した瞬間、佐藤さんは僕には気に入れてくれなかった。
それで僕はまた落ち込む・・・
佐藤さんが自分には声をかけてくれなかった事について・・・

「佐藤さん、おはようございます。」
今、憎々しく思えてきますね
何か他愛も無い対話が気に喰わなくなるなんて僕らしく無いですけどね。

佐藤さんに馴れ馴れしくしていますね・・・
じゃあ、嫌味っぽく高木君に話しかけよう！！

僕は企んでいるかのオーラを発して高木君の居るいちまでゆっくり歩いた。

「高木君、おはよう・・・」

僕はわざと甘ったるい声で苦笑いをする。
僕は驚いている彼を上からの視線でみる。
僕は嫌味っぽく

「ふっ」と、余裕をみせて軽く笑う。
しかし、実をいうと余裕を作るのも大変です。
佐藤さんとの距離が遠ざけられているような気がするんです。
いつもいつも偽りの余裕を見せる僕

嗚呼、僕はいつになったら佐藤さんとの距離が縮める事が出来るのでしょうか？

(後書き)

ごめんなさい(T―T)

昨日、コナンスペシャルに任三郎くんが出て来なかった寂しさはこの小説を書いてしまいました

いろいろと高木刑事がいて恋愛には困っているんじゃないかって思
って白鳥警部の一人称で書いてしまいました

下手な文章ですいません(<―>)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3400c/>

白鳥任三郎!!日常の恋愛に・・・

2010年10月17日03時59分発行